

平成22年度 学校評価について

()は昨年度

No.1豊かな心の育成

設 問			評 価			学校評価を受けての考察と方策 (◆方策)
教 職 員	児 童	保 護 者	教職員	児童	保護者	
集会活動や休み時間などにおける、縦割り班活動は工夫されている。	縦割り班活動は楽しいですか。	子どもは、縦割り班活動に楽しく取り組んでいる。	2.97 (3.00)	3.51 (3.30)	3.42 (3.27)	◆ 昨年度に比べて実際に活動を行った機会が多くなった。 ◆ 今後さらに、異年齢の積極的な交流が図れるような縦割り班活動や集会活動を委員会担当者とも協力して計画していきたい。
子どもは、意欲的に活動したり、楽しさを味わったりしている。			3.13 (3.11)			
他者と協同して問題解決していく中で、互いのよさを認め合う活動を取り入れている。	友達のよいところを見つけることができているか。	子どもは、互いに認め合い、なかよく学校生活を送っている。	3.07 (2.96)	3.27 (3.24)	3.38 (3.38)	◆ あったかハート集会及び事前事後の授業や活動を通して、友達のよさを認め合う機会を設けた。また今年度は、コミュニケーション能力を身に付けることを重点に学習を進めており、このような結果になったと考えられる。 ◆ 今後もすべての教育活動においてコミュニケーションを大切にし、互いを思いやり、認め合う集団づくりができるような支援を継続していく。
子どもは、互いに認め合い、なかよく学校生活を送っている。			3.23 (3.00)			
あいさつについて計画的に指導している。	気持ちのよいあいさつができていますか。	子どもは、場に応じたあいさつをしている。	3.07 (2.96)	3.48 (3.45)	3.16 (3.14)	◆ 運営委員会を中心としたあいさつ運動を行っている。また、あいさつやえしやくに関する児童の調査の結果も高い数値を示している。 ◆ 教職員と児童の評価に差が見られる。今後、さらに、気持ちのよいあいさつ、時と場に応じたあいさつについて話し合い、実施していきたい。
子どもは、場に応じたあいさつをしている。			2.76 (2.63)			
心に響く道徳の指導を工夫し、道徳的実践力の育成に努めている。	道徳の時間は好きですか。	子どもは、道徳的実践力を身に付けている。	2.83 (2.67)	3.24 (3.07)	3.10 (3.14)	◆ 子どもたちは、道徳の時間を楽しみしているが、やはり、急に子どもが変容するものではないので、教師の評価は低い。 ◆ 1時間、1時間の道徳の時間を大切にしなが、計画的、発展的に取り組んでいく必要があると考える。
子どもは、道徳的実践力を身に付けている。			2.79 (2.58)			
教育相談を充実するとともに家庭や地域と連携して、いじめや不登校の防止に努めている。	学校は楽しいですか。	教師は、子ども一人一人の話に耳を傾け、悩みや心配の解消に努めている。	3.10 (2.96)	3.58 (3.60)	3.09 (3.12)	◆ 毎月のいじめ調査や学期末の学校生活調査からいじめは認められていない。一人一人を大切にした学年、学級経営により、子どもたちは楽しく通学できていると考えられる。 ◆ いじめ等の研修を行い、教職員の意識を高める。と同時に、児童間のトラブルを早期発見、早期に処理する。また、不登校児童への対応についても研修を進めていきたい。
子どもは、毎日楽しく通学している。		子どもは、毎日楽しく通学している。	3.27 (3.26)		3.54 (3.51)	
地域への愛情が深まるように、家庭・地域の人材や学習材にかかわる学習活動を推進している。	北久米校区が好きですか。	学校は、地域の人材や自然などを有効に活用している。	2.69 (2.65)	3.55 (3.50)	3.08 (3.07)	◆ 社会科や総合的な学習の時間に地域の人材として来校していただき、体験を話していただいたり、一緒に活動したりする機会を多く設けた。「ゆいまある」も有効に活用できた。 ◆ 今後さらに学習活動や学校での行事を通して地域への愛情を深めていきたい。また、来年度の創立30周年記念に向けて、よりいっそう北久米小学校に愛情を持たせたい。
子どもの地域に対する愛情が深まっている。		子どもの地域に対する愛情が深まっている。	2.70 (2.63)		2.85 (2.95)	

学校評価委員会のコメント

- ・ 縦割り班活動の工夫について、教員の評価が低いのは、活動がややマンネリ化しているのかもしれませんが。新しく来られた先生や若い人のアイデアをどんどん取り上げればよいのではないかと思います。
- ・ 同学年と違い、異年齢の活動は、お互いを成長させるものとなります。
- ・ 「生きる力」はコミュニケーション能力ともいわれられており、今後とも様々な工夫をさせてやってください。
- ・ 子ども同士の長所を見付け合うことも大切ですが、国際化社会では、自己を磨き、自己をPRする力を養うことも重要と考えます。
- ・ あいさつは元気よくできています。
- ・ 道徳は、しっかりと授業を確保してください。
- ・ 子どもと先生や大人の評価の差が気になります。どこまで子どもに求めるのか、その差が子どもと大人にあるのでは・・・。まず、大人から子どもに声を掛けて見本を示すことも大切では・・・。
- ・ 校内ではあいさつはできているようですが、校外ではあまり見られません。
- ・ 教師と子どもの距離、時と場に応じた言葉が使えるように。
- ・ いじめは、どこの学校でもあるということを前提に、気持ちの上で引きしめてかかからねばならないと思います。
- ・ いじめに対する対応を徹底して行ってほしい。
- ・ 小学校で不登校となると、中学、高校でも不登校が継続し、社会参加が困難となる確率が高いので、不登校児童を出さない。もし、いる場合は、一応、学校に来れる体制づくりをお願いします。

No.2 確かな学力の向上

()は昨年度

設 問			評 価			学校評価を受けての考察と方策 (◆方策)
教 職 員	児 童	保 護 者	教職員	児童	保護者	
全教科において、体験的な活動(調査・実験・観察・見学を含む)とそれに基づく書く活動を取り入れている。	自分の気持ちや考えがよく分かるように友達に伝えようとしています	子どもは、相手を意識して、自分の気持ちを言葉で伝えている。	3.00 (2.85)	3.25 (3.20)	3.00 (2.97)	◆ 昨年度に比べてどの項目も少しずつよい評価を得ている。しかし、練り合う場の設定にはまだ課題が残る。 ◆ どの時間にも、練り合う場を設定することは内容的、時間的に難しいところがあるので、単元の中で重点を決め、計画的に進めていく。
全教科において、理由や根拠を明らかにしながら、考えを練り合う場を取り入れている。	友達の言いたいことを考えながら聞いたり、友達のいいところを見つけたりしていますか。		2.86 (2.81)	3.33 (3.31)		
子どもは、目的・相手意識をもって学び合いに取り組んでいる。			3.07 (2.78)			
子どもは、外国語活動に楽しく取り組んでいる。	外国語活動は楽しいですか。	子どもは、外国語活動に楽しく取り組んでいる。	3.30 (3.38)	3.56 (3.69)	3.09 (3.11)	◆ 伝え合う楽しさやよさを味わう活動を計画的に取り入れた結果、教職員と児童のポイントは昨年度よりも上昇している。 ◆ 聞く活動を多く取り入れ、楽しく外国語活動ができるようにする。そのためには、各単元の1、2時の活動も工夫していく。
児童の実態や意識の流れに即した指導計画を立案している。	先生(ALT)や友達が伝えようとするのをしっかりと聞いていますか。		3.00 (2.96)	3.54 (3.54)		
ALTや学習アシスタントと連携し、伝え合う楽しさ、よさを味わえる活動を取り入れている。	自分の伝えたいことを進んで伝えることができているか。		3.32 (3.26)	3.20 (3.09)		
基礎的・基本的な知識技能を定着、発展させるために家庭学習を工夫している。	忘れずに宿題をしたり、自主学習をしたりしていますか。	子どもは、家庭学習の習慣を身に付けている。	3.07 (2.96)	3.34 (3.33)	3.08 (3.00)	◆ 昨年度に続き、「家庭学習の手引き」を配布することで、基本的な家庭学習への取り組み方への共通理解を図ってきた。 ◆ 個人差が大きいので、個々に応じた具体的な家庭学習の内容や方法などについて、児童だけでなく、保護者にも働きかけていく。
子どもは、忘れずに宿題や自主学習に取り組んでいる。			3.07 (2.85)			
問題解決的な学習や少人数指導などによる分かる授業を展開している。	学校の授業はよく分かりますか。	教師は、学力を高めるために分かりやすい授業をしている。	2.93 (2.85)	3.55 (3.52)	3.04 (3.19)	◆ 児童は「授業がよく分かる」と肯定的であるが、教職員の評価はまだ低い。全国学力調査では、全国平均を上回っているが、漢字の読み書きにおいては十分とはいえない。CRTでも、面積などの複合問題など応用力に課題が残る。 ◆ 児童の実態をよく把握し、一人一人が学習の目当てをもち、主体的に追究していける学習過程や指導体制の工夫をし、授業改善に役立てるように努める。さらに、自己評価、相互評価の方法も研究していく。
評価を生かした、きめ細かな指導を実践している。		子どもたちに、基礎的・基本的な知識技能が定着している。	2.79 (2.70)			
子どもに、基礎的・基本的な技能が定着している。			2.97 (2.85)			
工夫した読書活動が実践されている。	読書は楽しいですか。	子どもたちは読書活動に親しんでいる。	2.79 (2.85)	3.58 (3.57)	3.13 (3.14)	◆ 読書に対する意識は高く、その意識がさらに高まるよう啓発したい。

学校評価委員会のコメント

- ・ 差別用語などを耳にすることがあった場合には厳しくご指導ください。
- ・ 子どもたちが根拠をもって考えを出し合う前提となるのは、どんなことを言っても非難されることのない環境だと思います。自己表現がうまくできた児童をほめるなどして自信をもたせることが大切だと思う。
- ・ 小学校は、子どもたちにとって人間形成の場だと思います。先生方の一挙手一投足が子どもたちの未来の希望につながるものとなることを期待します。
- ・ 子どもたちの中では、勉強は塾で、集団生活は学校と割り切っている子どももいるようです。勉強は一生続けるもの、勉強は自分を豊かにするものということを子どもにすりこんでいただきたい。
- ・ 外国語活動は、教師がさらに研修を深め、指導力をつけることが大切だと思います。
- ・ 今年度は熱心に取り組んでいたのではないかと思います。
- ・ 英語圏の小学校(できればALTの小学校)とインターネットで話し合う機会があれば実用的な訓練になると思います。
- ・ 家庭での過ごし方にあまり学校は大きくかわる必要はないのでは・・・。低学年のころからの家庭でのしつけも大切だと思う。
- ・ 日本の子どもは家の手伝いも宿題もほとんどやっています。社会人となって国際舞台に出ようとしても恐ろしくなって出られない人が多いです。国際的生存競争に耐えられる努力心、すなわち先生がいなくても頑張っていける心をつけさせてほしい。
- ・ 考え方は十人十色であり、大変難しいです。きめ細かくやり過ぎると児童のやる気をとってしまい、大まかにやると理解しにくいこととなります。先生の学問的情熱に児童が感動する授業であってほしいと思います。
- ・ 授業時数はますます増えていくと思います。ごくろうさまです。
- ・ 活字離れが言われている中では、読書を習慣付けてもらいたい。

No.3 健康でたくましい体づくり

()は昨年度

設		問	評 価			学校評価を受けての考察と方策 (◆方策)
教 職 員	児 童	保 護 者	教職員	児童	保護者	
外遊びや集団遊びを工夫し、個に応じた体力づくりを推進している。	外で遊んだり、運動したりしていますか。	子どもは、元気よく遊んだり、運動に親しんだりしている。	3.03 (2.81)	3.47 (3.50)	3.46 (3.48)	縦割り班遊びや学級での全員遊びが定着し、昼休みには運動場で遊んでいる姿がよく見られる。しかし、個に応じた体力づくりの推進が十分とはいえず、二極化が進んでいる。 子どもは好き嫌いなく食べているが、食べる量には個人差が見られる。 ◆ 今後全校が楽しんで参加できる体力づくりのイベント等を開催する。また、3学期には業間マラソンやなわとび検定、持久走大会を通して体力づくりを推進したい。 ◆ 今年度作成した安心・安全マップ等を活用して学校、家庭、地域が一体となった安全・健康教育を推進していきたい。
子どもは、元気よく遊んだり、運動に親しんだりしている。			3.27 (3.15)			
家庭や地域と連携して命や健康の大切さを意識した安全教育に取り組んでいる。	健康や安全について注意して生活していますか。	学校は、家庭や地域と連携して安全教育に取り組んでいる。	2.77 (2.85)	3.47 (3.46)	3.21 (3.23)	
子どもは、好き嫌いなく食べるなど健康に気を付けている。	給食は好き嫌いなく食べていますか。	子どもは、好き嫌いなく食べるなど、健康に気を付けている。	2.83 (2.96)	3.24 (3.32)	3.18 (3.12)	
勤労と奉仕の喜びを体験することができる活動が実践されている。	縦割り班清掃や植物の世話を一生懸命していますか。	子どもたちは、勤労や奉仕活動に意欲的に取り組んでいる。	2.80 (2.81)	3.45 (3.35)	2.87 (2.85)	
家庭と連携し、基本的生活習慣の形成に努めている。	早ね、早起き、朝ご飯が守れていますか。	子どもは早寝早起きをし、朝ご飯を食べて登校している。	2.90 (2.89)	3.35 (3.26)	3.44 (3.46)	清掃時間中には黙って掃除ができています。また、一人一鉢や野菜の世話などもよくできている。 ◆ 今年度は校外で奉仕活動をする機会が少なかったもので、そういう機会を設けていきたい。

学校評価委員会のコメント

- ・ 安全な地域づくりに我々も気を付けていきたいと思います。
- ・ よく学び、よく遊ばせたい。
- ・ 「健康、元気」はふだんは何も考えず過ごしているが、病気をしてみても、初めて、大切さ、ありがたさが身にしみます。
- ・ 家の手伝いを進んでするようにご指導ください。

No.4 学校運営

設		問	評 価			学校評価を受けての考察と方策 (◆方策)
教 職 員	児 童	保 護 者	教職員	児童	保護者	
本年度の研究主題を十分理解している。	/	/	3.37 (3.15)	/	/	児童の実態に基づき、学年部や部会で協動的に研究を進めることができている。 ◆ 地域や他校との連携を深め、長期的なスパンで児童を育てる研究を進める。
学年部や部会等との連携を生かしながら計画的に研修が進められている。			3.23 (3.15)			
全教職員で共通理解したことをきちんと指導している。			3.17 (3.19)			
基本的な生活習慣の確立に努めている。			3.17 (3.15)			
授業や行事をバランスよく確保している。	/	参観日や運動会などの学校行事は、適切に行われている。	3.00 (3.07)	/	/	今年度研究会等が多かったにもかかわらず、どの行事も滞りなく実施できた。 ◆ 担当校務にとどまらず全校体制でお互い協力し合えるような教職員の組織でありたい。また、来年度より全面実施される学習指導要領の対応した行事計画の立案や授業時数の確保に努めていく。
各教科の必要時数を確保している。			3.21 (3.22)			
校務分掌が適切で、組織として機能している。			3.10 (3.04)			
担当校務について理解し、適切に処理している。	/	/	3.17 (3.11)	/	/	
学校環境は美しく整えられている。			3.10 (3.15)			3.49 (3.45)

学校評価委員会のコメント

- ・ 管理職の適切な指導、助言を得て、指導体制が有効に機能しているのはすばらしい。
- ・ ある先生が授業をされている様子を他の先生が参観する先生同士の授業参観、授業研究を続けてください。
- ・ 研究会お疲れ様でした。
- ・ 校内での学校事務の簡素化、事務の機械化、校務分掌の簡略化を心掛けていただければ幸いです。

No.5 その他

()は昨年度

設		問	評 価			学校評価を受けての考察と方策 (◆方策)
教 職 員	児 童	保 護 者	教職員	児童	保護者	
/	/	学校は、保護者や地域からの意見を聞き、教育活動に生かしている。	/	/	3.14 (3.18)	学校の教育方針や活動内容を機会あるごとに説明し、保護者や地域の要望を教育活動に生かしたり、教師がPTAや地域の行事に参加したりしたことが高い評価を受けたと考える。 ◆ 外部アンケートと教職員の自己評価の結果を2月の学校だよりで報告し、今後も、学校、家庭、地域が連携・協力し合って、児童の教育に取り組んでいきたい。
		教師はPTA行事や地域の行事などに協力的である。			3.23 (3.27)	
		学校は、教育方針や活動の様子などを家庭や地域に分かりやすく伝えている。			3.18 (3.09)	
		保護者は、参観日や学校行事などに積極的に参加している。			3.21 (3.16)	
		保護者はPTA活動に協力的である。			2.88 (2.77)	

学校評価委員会のコメント

- ・ ブログ形式のホームページにして、更新をひんぱんに行うようにすればどうでしょうか？
- ・ 忙しい中、先生方が、PTAや地域の行事によく参加されました。ご苦労様です。
- ・ 地域青少年健全育成の会やお祭りなどに協力していただき、感謝しています。今後もよろしくお願ひします。
- ・ 北久米集会所の清掃に子どもたちが来てくれて感謝しています。
- ・ 1月26日の参観日も多くの保護者の方が参加されていて感心しました。
- ・ 保護者のPTA活動への協力のポイントが上がっているのは、学校とPTAがうまく連携できている証では。